



2024年5月10日

各位

株式会社インプレスホールディングス

代表者名：代表取締役社長 松本 大輔

(コード番号 9479 東証スタンダード市場)

問合せ先：取締役副社長 山手 章弘

(TEL : 03 - 6837 - 5000 代表)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正、
並びに2025年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、これに伴い2024年2月13日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、2025年3月期の業績予想についてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2023年12月19日付「連結子会社の「セカンドキャリア支援制度」の結果及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、今後の早期収益改善を目的に、事業構造改革の一環としてセカンドキャリア支援制度及び追加の人員削減施策を実施し、人員の最適化に取り組んだことから、事業構造改革費136百万円を第3四半期連結会計期間に特別損失として計上いたしました。

また、連結子会社である株式会社リットーミュージック、株式会社山と溪谷社、株式会社エムディエヌコーポレーション、イカロス出版株式会社、株式会社IPGネットワーク、株式会社PUBFUN、有限会社原の小屋が保有する事業用資産やのれんについて、不採算事業の見直しを受けて、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、減損損失として288百万円を計上する見込みとなりました。

2. 通期連結業績予想の修正について

■2024年3月期連結累計期間の連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年2月13日)	14,400	△360	△250	△700	△20.69円
今回修正予想 (B)	14,466	△483	△366	△1,036	△30.64円

増減額 (B-A)	66	△123	△116	△336	
増減率	0.5%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 2023年3月期	15,161	386	494	375	11.15円

【修正の理由】

第4四半期連結会計期間（3ヶ月）において、既刊書籍の出荷が想定を下回ったものの、引き続き好調に推移するネットメディア及びプラットフォーム事業、下げ止まり感が見え始めたターゲットメディアがカバーし、売上高は想定を上回る推移となりました。一方、既刊書籍の出荷減少傾向の継続により在庫の評価額が低下したことで、売上原価が想定よりも100百万円程度増加し、営業利益を下方修正いたしました。また、特別損失として第3四半期連結会計期間（3ヶ月）に人員合理化施策等による事業構造改革費136百万円を計上したことに加え、第4四半期連結会計期間（3ヶ月）に収益性の低下した事業用資産やのれんの減損損失を、想定より100百万円程度多い288百万円計上いたしました。その他、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる法人税等調整額114百万円の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純利益を大幅に下方修正いたしました。

3. 通期連結業績予想について

■2025年3月期連結累計期間の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期（累計）	7,200	0	50	0	0.00円
通期	14,900	250	350	200	5.91円

次期2025年3月期の業績見通しにつきましては、出版事業環境の変化や原材料・物流費の持続的な上昇等、当期に引き続き、厳しい事業環境を想定しております。このような事業環境の中、「企業価値の向上」に向けて、収益及び事業のポートフォリオを抜本的に見直し、出版事業の構造改革と中長期の成長基盤の開発促進に継続的に取り組んでまいります。

まず、当社の事業ポートフォリオにおいて、重要な収益基盤である出版事業の収益力の回復を最重点課題とし、当期に実施した人員合理化等の事業構造改革や事業用資産の減損による固定費の削減施策等の相乗効果で、着実に営業利益の黒字転換を目指します。

出版・電子出版事業については、人員合理化による固定費等の削減をベースに、不採算な製品ラインナップの整理、IPの競争力の強化、商品価格の引上げ、返品率の改善、生産性の向上等の課題に取り組んでまいります。

ネットメディア事業については、サードパーティCookieの規制開始によりデジタル広告等への影響が懸念されますが、優良なオーディエンスを抱える専門メディアの強みに加え、収益モデルの多角化、DtoCの事業モデルの開発等の施策により、次期においては事業規模と収益力の維持に努めます。

なお、当期が調整局面となったターゲットメディア事業は底入れ感が出始めており、事業規模の回復に向けた取り組みを強化、投資フェーズの DtoC 事業モデル、新規プラットフォーム事業の開発については、新規売上の創出による成果の獲得を進めます。

また、事業の競争力及び開発力の強化を目的に、外部との協業（事業及び資本業務提携）関係の構築に積極的に取り組んでまいります。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレスホールディングス コーポレートコミュニケーション室 広報担当

TEL: 03-6837-5000 代表 / E-mail: release@impressholdings.com

URL: <https://www.impressholdings.com/>